

「甲府市多文化共生推進計画2026」(概要版)

2026年度 → 2030年度 **5 基本理念(基本の考え方)**

1 計画策定の趣旨(なぜ計画をつくるのか)

日本で生活している外国人は増えています。甲府市で生活している外国人も増えています。また、新型コロナウイルス感染症が5類に変わったので、インバウンド客(訪日外国人観光客)も、とても増えています。

甲府市は、2009年、2016年、2021年に「甲府市多文化共生推進計画」を作りました。みんなが住みやすいまちにするために、多文化共生施策に取り組んできました。

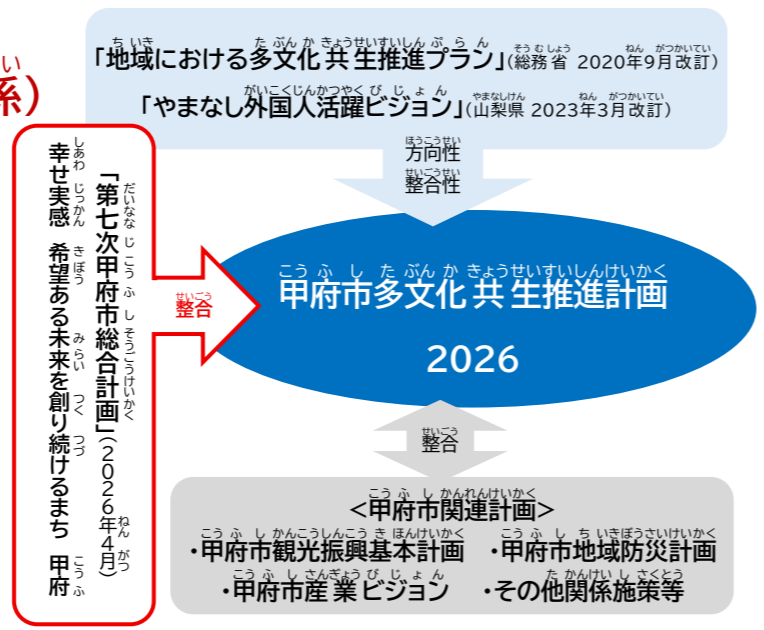
この計画は、前の「甲府市多文化共生推進計画2021」の結果をふり返し、日本人市民・外国人市民・市内の会社に行ったアンケートで分かった課題をもとに作りました。

外国人市民が地域の一員として受け入れられ、みんなが安心して生活し、活躍できるまちをつくるために、多文化共生の取り組みをまとめて、計画的に進めていくことが目的です。そして、甲府市が「住みたい」と思われるまちになることを目指しています。

2 計画の位置づけ(ほかの計画との関係)

この計画は、国が作った「地域における多文化共生推進プラン」(総務省 2020年9月改訂)と、山梨県が作った「やまなし外国人活躍ビジョン」(山梨県 2023年3月改訂)を参考にしています。

そして、「第七次甲府市総合計画」(2026年4月)を上計画として、甲府市のほかの計画と内容が合うようにまとめています。



3 計画の期間

この計画の期間は、2026年度から2030年度までの5年間です。そのあいだに、社会の様子や市民の意識、法律が変わったときなど、必要な場合は計画を見直します。

4 甲府市の多文化共生についての課題

「甲府市多文化共生推進計画2021」の結果を振り返ったり、アンケートの結果を見たりすることで、つぎのような課題が見えてきました。

- ①日本語教育の拡充と学習機会の充実
日本語を勉強したい人が多いので、外国人市民が日本語で話して活躍できるように、日本語の勉強のサポートをもっとよくなる必要があります。
- ②多言語対応と情報発信手段の拡充
外国人市民が必要な情報をしっかり受け取れるように、いろいろな国の言葉で伝えることと、SNSなどを使ってもっと情報を届ける必要があります。
- ③地域社会への参画と生活定着の促進
生活のルールを伝えて、外国人市民が地域の活動に参加することで、お互いにコミュニケーションをとりながら、安心して暮らせるようにする必要があります。
- ④多文化共生教育の推進と意識の醸成
小学校や中学校で、いろいろな文化にふれる機会をつくる必要があります。また、「やさしい日本語」を広めて、多文化共生の土台をつくる必要があります。
- ⑤企業との連携強化とインバウンド客の対応
外国人市民と企業をつなぐ機会をつくったり、観光の情報をいろいろな言葉で発信したりして、魅力のあるまちをつくる必要があります。

「互いを認め合い すべての人が活躍し 幸せに暮らすまち甲府」

本市のいちばん上の計画である「第七次甲府市総合計画」では、「幸せ実感 希望ある未来を創り続けるまち 甲府」を目指すまちのすがたとしています。また、多文化共生社会を実現するためには、国のちがいに関係なく、すべての市民がお互いの権利を認め、文化のちがいを大切にしながら、力を合わせて取り組むことが必要です。これらのことから、「甲府市多文化共生推進計画2026」では、甲府市に暮らすすべての市民が、お互いを大切に、一人ひとりが活躍できるまちを一緒に作り上げ、みんなが自分らしく生活できるように、「互いを認め合い すべての人が活躍し 幸せに暮らすまち甲府」を基本理念(基本の考え方)とします。

6 基本目標・基本施策

基本目標1 「コミュニケーションで築くまち」		
基本施策	1-1日本語を学ぶ機会を増やす	日本語教室を開催します。学校では、外国人の子どもたちの日本語の勉強をしっかりサポートします。
基本施策	1-2いろいろな国の言葉で情報を届ける	生活に必要な情報をいろいろな国の言葉で伝えます。公共施設の案内もいろいろな国の言葉を使います。
基本目標2 「心豊かに暮らすまち」		
基本施策	2-1安全で安心して暮らせるようにする	生活のルールを分かりやすく伝えます。防災(災害の準備)や防犯(犯罪を防ぐ)の取組を進めます。外国人市民が地域の活動に参加できるようにします。
基本施策	2-2生活の相談窓口をつくる	いろいろな国の言葉で相談できる窓口をつくりまします。税金や保険料の相談、子どもの教育の相談などに対応します。
基本目標3 「地域でつくる多文化共生のまち」		
基本施策	3-1多文化共生への理解を広げる	小学校・中学校で、多文化共生について学ぶ授業を進めます。地域でも多文化共生を大切にする気持ちを広げます。
基本施策	3-2みんなに伝える言葉を使う	行政(市役所など)で「やさしい日本語」を使います。地域でも「やさしい日本語」を広めます。
基本目標4 「国際交流が広がるまち」		
基本施策	4-1外国人が活躍できる機会をつくる	市内の大学と協力して、留学生の受入れや生活のサポートをします。外国人市民が仕事を見つけられるように支援します。
基本施策	4-2他の都市との交流を進める	姉妹都市・友好都市などとの交流を増やします。国際的な感覚を育てる教育を進めます。

7 進行管理

この計画では、「計画→実行→振り返り→見直し」をくり返して、少しずつ良くなります。取組の効果を確かめながら、多文化共生を進めます。

また、甲府市多文化共生推進委員会(市の多文化共生についての委員会)や甲府市多文化共生庁内連絡会議(市の多文化共生についての会議)で、取組がきちんと続いているか、効果があるかを確認し、どこまでできているかを見ながら進めていきます。

